

本校の読書活動について



副校長 仲西 久美子

長かった夏も終わり、少しずつ涼しくなり過ごしやすい季節となりました。秋は「食欲の秋」、「スポーツの秋」などと言われますが、今回は「読書の秋」ということで、本校の読書活動について御紹介いたします。

本校では学校経営計画に言語活動及び読書活動の充実を目標に掲げて「読書活動及び図書室充実プロジェクト」に取り組んでいます。昨年度は図書室のレイアウトを変更し、落ち着いて読書ができるカウンター席や絵本閲覧コーナー席を設置しました。今年度は、「新着図書紹介コーナー」を設置したり、小学部は近隣への図書館歩行を再開したりしています。蔵書についても、小学部から高等部までの幅広い年齢層を意識して選定し、今までで少なかった調べ学習や知識の会得の学習に活用できる本を増やしました。

夏季休業中には、図書のデジタル管理に向けて本の電子登録を行い10月からバーコード管理による貸し出しを開始する予定です。

今後は、児童・生徒による「自分の好きな本・紹介したい本」を選び全校に紹介していきます。私は恩師から見識を広げるためには読書することが良いことだと教えられ、普段あまり読まないようなジャンルの本も手にとるようにしています。児童・生徒が様々な本への興味・関心を広げるために、魅力的な図書室を目指し、読書活動の充実に努めてまいります。



中学部 作業学習について

本校では、「各教科等を合わせた指導」の一つとして中学部、高等部で作業学習を行っています。中学部では水曜日の午前中を作業学習としており、「縫工班」「紙工班」「食品加工班」「清掃班」の合計4つの班に、1年生から3年生までの生徒を縦割りで配置し、学習に取り組んでいます。また、今年度は学校経営計画の中で「中高作業学習充実プロジェクト」を立ち上げ、中学部段階で求められる力をより具体的に考え、身に付けていけるように取り組んでいるところです。

中学部段階の作業学習で大切にしたいことは「やりがい」「楽しさ」「他者と関わる力」を身に付けることです。そのために生徒が「連絡」「報告」「相談」を行う場面を意図的に設定し、「自分のしたことが誰かに認められる」「誰かの役に立つ」経験を積むことのできる授業を行っています。作業学習での経験が本人の自信となり、意欲につながる。将来の社会参加に向けての基盤を固めていきたいと考えています。

主幹教諭 松村 美華